

香川の
土地改良

みどり
水土里ネット香川

発行所
香川県土地改良事業団体連合会
高松市番町五丁目 1 番 29 号
TEL (087) 832-7140
FAX (087) 832-7150
<http://www.midorinet-kagawa.or.jp/>



西村中地区資源保全活動組織の花一杯運動（東かがわ市）

目次

1. 農業農村整備の集い開催 2
2. 令和 2 年度農業農村整備予算の確保・拡大について 県選出国會議員に要望 3
3. 令和元年度香川県水土里情報利活用促進協議会総会開催 4
4. 第 8 回かがわ農業フェア開催 5
5. 土地改良区役職員研修会開催 6
6. あやうたふるさとまつり開催 6
7. 土地改良区だより ～高松市下笠居土地改良区～ 7
8. 山南営農組合の歩み ～産地直売の経営(米や野菜の販売)～ 8
9. 会と催し 8

農業農村整備の集い開催



二階俊博全国土地改良事業団体連合会会長による挨拶

11月11日、「農業農村整備の集い」が東京都千代田区のシェーンバッハ・サボーにおいて、“農を守り、地方を創る予算の確保に向けて”をテーマに開催された。

この集いには、全国から農業農村整備事業関係者約1,300名が参加し、本県からは、本会の大山会長をはじめ、各地区の土地改良協議会並びにかがわ水土里ネット女性の会の代表者18名が参加した。

集いの開会に当たり、二階俊博全国土地改良事業団体連合会会長は、「日夜頑張っている農家の方々の期待に応えられるよう『闘う土地改良』のもと予算確保のために決意を持って取り組んでいくので、関係者皆様方の協力をお願いしたい」と挨拶された。

次に、来賓として出席された江藤拓農林水産大臣、森山裕自民党国会対策委員長、西川公也内閣官房参与、塩谷立自民党農林・食料戦略調査会長、進藤金日子総務大臣政務官兼内閣府大臣政務官、宮崎雅夫都道府県土地改良事業団体連合会会長会議顧問（参議院議員）より祝辞が述べられた後、「令和2年度当初予算の確保」など6項目の要請書が全会一致で採択された。続いて、全土連より「基盤整備事業



江藤拓農林水産大臣による祝辞

の実施で地域の定住化が促進された事例」について発表があり、終わりに熊川栄群馬県土地改良事業団体連合会会長によるガンパロウ三唱で盛会裏に集いは終了した。



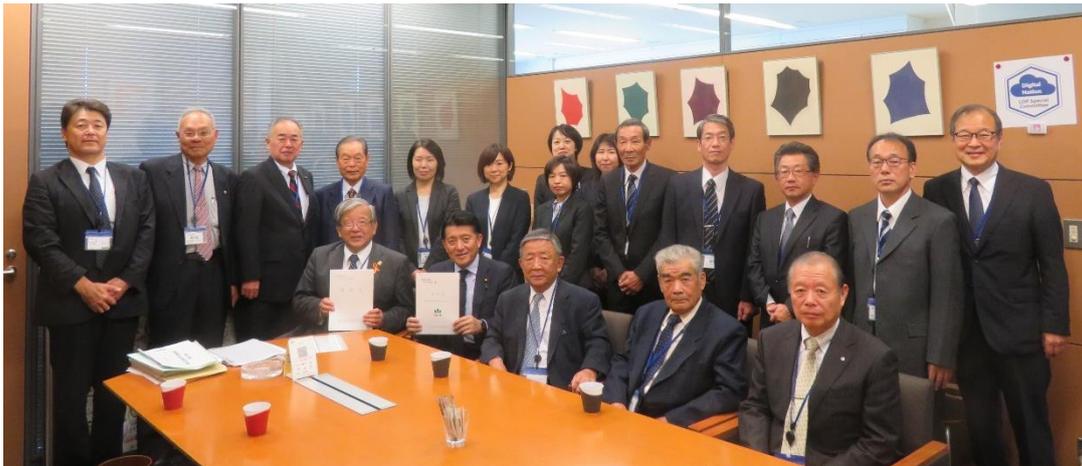
進藤金日子参議院議員による祝辞



宮崎雅夫参議院議員による祝辞

令和 2 年度農業農村整備予算の確保・拡大について 県選出国會議員に要望

11 月 12 日、県選出国會議員に令和 2 年度農業農村整備事業関係予算の概算決定に向け、本県が直面する課題に対応するため、農業農村整備予算の当初予算の確保、農村地域防災減災事業予算の拡大、さらに改正土地改良法の円滑な遂行を図るため、水土里ネットが構築するシステムへの配慮及び支援について要望した。



平井卓也衆議院議員に要望書を提出



平井卓也衆議院議員との意見交換



玉木雄一郎衆議院議員に要望書を提出



小川淳也衆議院議員に要望書を提出

令和元年度香川県水土里情報利活用促進協議会総会開催

11 月 18 日、丸亀市綾歌総合文化会館(アイレックス)において、県、市町、土地改良区、県農業協同組合、県農業会議、農業委員会、県農業共済組合、県農地機構など 72 会員団体、88 名の出席のもと、令和元年度香川県水土里情報利活用促進協議会総会が開催された。

総会は、野瀬康弘香川県土地改良事業団体連合会常務理事の開会挨拶の後、来賓の児島学中国四国農政局農村振興部地域整備課課長、井川一郎香川県農政水産部農村整備課課長から挨拶を頂いた。

その後、議事に移り上程された次の 3 議案が原案のとおり承認された。

第 1 号議案	役員の改選について
第 2 号議案	平成 30 年度事業報告について
第 3 号議案	令和元年度事業計画について

また、事務局から会員の市町へ筆図、農業振興地域図、オルソ画像等の最新データ提供をお願いした。

引き続き、四箇池土地改良区辻管理主任及び本会高橋課長補佐から水土里情報の活用事例発表があり、総会は盛会裏に閉会した。

【事例発表】

① 「水土里情報システムの活用について」

四箇池土地改良区 管理主任 辻 景太

1. 四箇池土地改良区の概要
2. 水土里情報システム導入の経緯
3. 水土里情報データの現状について紹介
《今後の展望》

G I S での施設管理(頭首工ごとの受益地及び未収賦課金の土地の把握、設計図書等の地図との連携)

② 「土地改良施設の資産評価及びG I S化について」

香川県土地改良事業団体連合会会員支援課 課長補佐
高橋和久

☆土地改良法の改正による貸借対照表作成のための土地改良施設の資産評価手順、また、土地改良区及び県・県土連の役割について

☆水土里情報システムを活用した施設管理の進め方を紹介



児島学課長より挨拶



井川一郎課長より挨拶



辻景太管理主任より事例発表

第 8 回かがわ農業フェア開催

11 月 10 日、綾川町の香川県農業試験場において、香川の「食」と「農」に関するイベント「かがわ農業フェア」が開催された。

平成 23 年 10 月に綾川町に移転した農業試験場は、広く県民に親しまれる「開かれた試験場」をめざし、その一環として、研究成果の一般公開と、県内農畜産物の販売などを行っており、今年で 8 回目の開催となる。

オープニングセレモニーでは、西原義一香川県副知事による主催者挨拶の後、来賓の有福哲二香川県議会議長代理・経済委員会委員長、前田武俊綾川町長らが挨拶され、本会からは大山会長が出席した。

イベントには、約 4,000 人が参加し、各ブースにおいて、スマート農業機械実演・展示や「オリーブ牛」「おいでまい」「オリーブハマチ」など県内農畜産物などの試食・販売などが行われ、賑わいを見せていた。



西原義一副知事より挨拶



来賓として本会大山会長が出席



農業機械実演・展示



農産物の販売

農業試験場研究成果発表

～スマート農業技術開発・実証プロジェクトの取組発表～

- 現地実態調査にみる小麦「さぬきの夢 2009」の低収要因と改善方向
- ニンニク収穫作業の省力化に関する調査
- ラナンキュラス塊根の大きさが切花および塊根の収量に及ぼす影響
- 休眠時間の短いモモ品種の栽培特性
- オリーブの果実肥大後期における土壌の乾燥が果実およびオイルの品質に及ぼす影響 ほか



土地改良区役職員研修会開催

11 月 6 日、令和元年度土地改良区役職員研修会を香川用水記念会館において開催した。

この研修会は、土地改良推進事業の一環として、土地改良区の健全な組織運営等を目的に毎年開催している。今年度は、基盤整備と農村の活性化、また、平成 31 年 4 月 1 日より施行された土地改良法の一部改正及び改正に伴う土地改良区の資産評価、土地改良施設に係る施設更新事業等に要する費用の積立、複式簿記や人権問題など、幅広い内容の研修会であった。土地改良区役職員等 87 名が参加し、熱心に耳を傾けていた。



研修科目	講師
基盤整備と農村の活性化について	香川県農政水産部農村整備課 課長 井川 一郎
土地改良法の一部改正等について	香川県農政水産部土地改良課 課長補佐 片岡 義博
みんなで築こう人権尊重社会 ～正しく知る 人権感覚を磨く～	香川県総務部人権・同和政策課 参事 宮本 浩
複式簿記に向けた取り組みについて	公認会計士 内橋 翔
土地改良施設に係る施設更新事業等に 要する費用の積立てについて	中国四国農政局農村振興部 土地改良管理課 課長補佐 石田 昭弘
土地改良施設の資産評価等について	香川県土地改良事業団体連合会 副主幹 中井 智美

あやうたふるさとまつり開催

11 月 2 日、3 日の両日、丸亀市綾歌町の綾歌総合文化会館アイレックスにおいて、あやうたふるさとまつりが開催された。このまつりは、文化協会の作品発表と地域の交流を目的に開催されている。

会場には、文化協会に所属する人たちの短歌や俳句、書道、絵画、陶芸といった作品や見ごろを迎えた菊が展示され、多くの人たちが集まり作品を鑑賞していた。



丸亀市綾歌土地改良区とあやうた地域広域活動組織は会場の一角に、土地改良区の役割や多面的機能支払交付金の活動事例などをパネル展示するなどして、日頃の地域活動について PR 活動を行った。



～土地改良区だより～

高松市下笠居土地改良区は、昭和 27 年 4 月 14 日に設立された。香川県高松市の北西部に位置し、標高 200 メートルから 400 メートルの五色台から瀬戸内海へ流れ込む傾斜地である。地区内には、住吉川及び亀水川の 2 級河川があり、大小 81 ヶ所のため池が点在し、規模の大きいため池は中山水利組合・亀水水利組合・小山池水利組合などが管理しているが、規模の小さいため池は近年の後継者不足により管理が行き届いていない状況である。

水田は少ないが、畑作を中心とした地域であり、主な農産物は、柑橘類・枇杷等が多く栽培されており、近年では野菜の栽培も盛んである。

ため池の草刈りは、各水利組合により年に 2 回程度実施しているが、高齢者の参加が多くなり危険な箇所があるため、法面の勾配・足場の設置等の対策が必要となってきた。

当管内では、その昔、諸国を巡礼していた弘法大師が、水を一杯飲ませてもらおうと空谷川のほとりの民家へ立ち寄ったが、住民は水を与えなかった。弘法大師が川の中へ杖を突きたてたところ、流れていた水が川底へしみ込んでしまい、川底では水音がしているのにも関わらず、水が流れなくなってしまった。この空谷川の水は、生島の突抜泉（ツケンケ）に湧き出るようになり、干ばつの時もこの泉は枯れることがなく、瀬戸の島々から水を汲みに来たほどの名水であった。突抜泉の名水をもらって生きたので、島の人々はこの浦を「生島」と呼ぶようになったと伝えられている。

当地域は、農業の後継者不足による休耕田や、山間部の畑地の放棄などが増えてきているが、新規就農者による農産物栽培など、地域を支える力としての期待が膨らんでいる。今後も厳しい農業情勢の中、土地改良施設の更新や維持管理が必要であるため、役職員一丸となり、更なる発展に努めていきたい。

高松市下笠居土地改良区



桑崎池



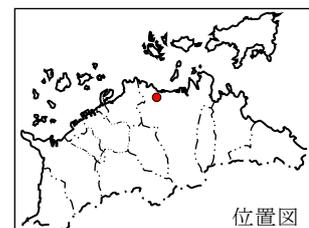
亀割池



溝内 亨治 理事長
(単県事業で裏法改修工事中の原池)

土地改良区の概要

所在地 高松市生島町 353 番地 1
 受益面積：423.1ha (田 87.6ha・畑 33.5ha・果樹地 302.0ha)
 組合員：910 名
 理事：12 名 監事：3 名 職員：1 名



位置図

山南営農組合特集 ～産地直売の経営(米や野菜の販売)～

豊かな自然環境の下、地区中心を流れる小叢川を主水源とした 12ヘクタールの水田地帯では、普及センターに減農薬の営農指導を受け、「エコファーマ米」を栽培し、多方面から良質米として高い評価を受けている。米の販売は、非農家や女性を中心となり、口コミで顧客を拡大。販売価格はプレミアム、最高級、上質米の3段階に設定している。



エコファーマ米

また、約10ヘクタールの傾斜畑(8度)は、かんがい施設を備えていることに加え、砂質系の土壌は有機肥料と相性がよく野菜作りに適していることから、キャベツ、白菜、大根、ほうれん草、ブロッコリー等の高品質の高冷地野菜を栽培している。毎週日曜日開催の農村レストラン及び田中朝市、11月に開催される三木町文化祭で販売している。



東京でのPR販売

会 と 催 し

開催月日	会 の 名 称	開催場所
11月11日 ～12日	農業農村整備の集い及び農林水産省等への要望活動	東京都
11月18日	令和元年度水土里情報利活用促進協議会幹事会・総会	丸亀市
11月19日	令和元年度中国四国土地改良事業団体連合会事務部会	島根県
11月22日	香川県農地機構令和元年度第3回事業運営協議会	高松市
11月25日 ～29日	令和元年度土地改良区体制強化事業施設管理研修	埼玉県
11月26日	令和元年度疎水研修会	東京都
12月5日	令和元年度中国四国土地改良事業団体連合会技術部会	高知県
12月10日	「全国水土里ネット女性の会」設立総会及び研修会	東京都